

妊娠高血圧症候群等医療費助成認定基準

| 分類  | 症状  |
|---|---|
| <p>1 妊娠高血圧症候群及び関連疾患</p> <p>(1) 妊娠高血圧症候群</p> | <p>次のうち、アに掲げる重症基準を満たすもの又はイに掲げる重症基準に準ずる症状があるものであること。</p> <p>ア 重症基準<br/>次の①、②のいずれかの基準を満たすもの<br/>①収縮期血圧が 160mmHg 以上又は拡張期血圧が 110mmHg 以上のもの<br/>②収縮期血圧が 140mmHg 以上又は拡張期血圧が 90mmHg 以上のもののうち、2g/日以上 of 蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連続して 3+(300mg/dl)以上であること。</p> <p>イ 重症基準に準ずる症状<br/>原則として、次の①から③のいずれかの症状があるもの<br/>①浮腫が全身に及ぶもの<br/>②2g/日以上 of 蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連続して 3+(300mg/dl)以上であること。<br/>③収縮期血圧が 140mmHg 以上又は拡張期血圧が 90mmHg 以上のもののうち、300mg/日以上 of 蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連続して+(20-50mg/dl)以上であること。</p> |
| <p>(2) 子 癇</p>                              | <p>妊娠 20 週以降に初めてけいれん発作を起こし、てんかんや二次性けいれんが否定されるもの<br/>(妊娠子癇、分娩子癇、産婦子癇)</p>  |
| <p>(3) 妊娠高血圧症候群関連疾患</p>                     | <p>肺水腫、脳出血、常位胎盤早期剥離、HELLP 症候群</p>   |
| <p>2 糖尿病及び妊娠糖尿病</p>                         | <p>次に掲げるアからウのいずれかであること。</p> <p>ア 妊娠前から糖尿病と診断されたもの<br/>イ 妊娠糖尿病<br/>妊娠中、75g 経口ブドウ糖負荷試験において次の①から③のいずれかを満たすもの。ただし、ウと診断されたものは除く。<br/>① 空腹時血糖値：92mg/dl以上<br/>② 負荷後 1 時間値：180mg/dl以上<br/>③ 負荷後 2 時間値：153mg/dl以上<br/>ウ 妊娠時に診断された明らかな糖尿病<br/>妊娠中、次の①から④のいずれかを満たすもの<br/>① 空腹時血糖値：126mg/dl以上<br/>② HbA1c (NGSP) が 6.5%以上であるもの<br/>③ 確実な糖尿病網膜症を認めるもの<br/>④ 随時血糖値又は 75g 経口ブドウ糖負荷試験の 2 時間値が 200mg/dl以上であって、空腹時血糖又は HbA1c により確認されたもの</p>   |
| <p>3 貧血</p>                                 | <p>血色素量がおおむね 9g/dl以下のもの</p>   |
| <p>4 産科出血</p>                               | <p>産科出血による多量の出血 (1,000cc 以上の分娩時出血) で輸血その他の応急処置を必要とするもの</p>  |
| <p>5 心疾患</p>                                | <p>先天性又は後天性の心疾患を有し、心不全、肺水腫、心内膜炎、心房細動等の病態の悪化が認められるもの</p>   |